



年 組 名前

# 道新ワークシート

## 流氷初日と接岸初日



Q 網走地方気象台が今月19日に「流氷初日」を観測したね。

A 流氷初日は、視界外から漂流してきた流氷が、目で見られる範囲の海面に初めて見られた日を指すんだ。昨年より14日も早く、昨年より3日早かったよ。

ちなみに網走でこれまでで一番早かったのは、2001年の12月27日だ。もっとも遅かったのは1993年で2月10日だったよ。

Q 22日には同気象台が「流氷接岸初日」を観測したけど、どう違うの？

A 接岸初日というのは、流氷が岸に着いたり、もともとある氷とくっついて沿岸部で水路がなくなったり、船舶が航行できなくな



「接岸初日」には網走川の河口付近でも流氷が見られた  
22日、網走市（茂忠信撮影）

## XとY 影響 平年より早く

る最初の日を指すんだ。昨年より19日も早く、平年よりも13日早かった。もっとも早かったのは01年の1月8日になる。もっとも遅かったのは16年の2月22日。ただ、1989年は接岸自体がなかったんだ。

Q そもそも流氷はどこから来るのかな。

A 流氷（海水）はオホーツク海に面するロシアのアムール川河口付近で海水が凍って徐々に広がり、規模が拡大していく。北海道沿岸にやってくる流氷はシベリア沿岸やサハリン（樺太）東部の沿岸で凍った氷が流れてくることされる。特に道内のオホーツク沿岸で見られる流氷は、世界でもっとも低緯度で見られる海水で貴重なんだ。

（相川康暁）

Q 今年はどうして早かったのかな。

A 道立オホーツク流氷科学センター（紋別）によると、海流や風向きといった複合的な要因が考えられるみたいだ。「今年は海が荒れることも多く、北風や東風が強まったことで沿岸部に早く到達したのではなにか」とみているよ。平年よりも早く「冬の使者」が道内のオホーツク海に訪れたという訳だね。

Q 流氷は観光資源としても魅力だね。

A 流氷の時期に合わせて、紋別市では流氷観光船「ガリンコ号」、網走市で

は流氷観光砕氷船「おしろ」が運航されていて、観光客らに人気を集めているよ。視界内の海面で、流氷が見られた最後の日を「流氷終日」というんだが、網走地方気象台は21年に観測を終了している。これまでの平年では3月末ごろだ。近年は温暖化の影響で、流氷を見られる期間が徐々に短くなりつつあるから心配だね。

2024年1月29日（月）朝刊 北見・オホーツク版 13ページ（記事は再編集しています）

① X Y に入る言葉を記事の中から、Xは2文字、Yは3文字で書き抜きなさい。

X

Y

② 2001年の網走の「流氷初日」と「接岸初日」の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

- ア 流氷初日… 1月19日
- イ 流氷初日… 1月19日
- ウ 流氷初日… 12月27日
- エ 流氷初日… 12月27日

- 接岸初日… 1月22日
- 接岸初日… 1月 8日
- 接岸初日… 1月22日
- 接岸初日… 1月 8日

③ 2023年の網走の「流氷初日」と「接岸初日」の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

- ア 流氷初日… 2月 2日
- イ 流氷初日… 2月12日
- ウ 流氷初日… 2月 2日
- エ 流氷初日… 2月12日

- 接岸初日… 2月20日
- 接岸初日… 2月20日
- 接岸初日… 2月10日
- 接岸初日… 2月10日